

一般質問

6月12日から15日、18日の5日間にわたり、34名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたずねました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかります。



環境マスタープランの進捗は



ちだ伸也(まちだ市民クラブ)
環境マスタープランの進捗状況について問う。
環境資源部長 前期5年間の推進計画であるアクションプランに基づき、町田市生きの共生プランの策定、庁用車への燃料電池自動車の導入、連節バスの運行開始、まちだのエコページの開設などの取り組みを実施しました。また、市民1人当たりの二酸化炭素排出量について、ほぼ横ばいで、削減は進んでいません。
スポーツ推進計画の進捗状況について問う。
文化スポーツ振興部長 17年度末の達成状況は、週1回スポーツを実施する市民の割合の目標値60%に対し55%、地域スポーツクラブの総クラブ数の目標値10クラブに対し8クラブ、ホームタウンチームのホームゲームでの年間観戦者数の目標値17万人に対し9万9970人です。



ロボット技術導入で働き方改革



斉藤かつひろ(公明党)
まちだ〇ごと大作戦の推進姿勢は。
広報担当部長 関係部署で構成するまちだ〇ごと大作戦担当課長会議を設置しており、各部署が提案、情報を共有し、新しい発想で提案者との意見交換などを行い、さまざまな提案の実現を目指してサポートしていきます。応募いただいた提案は、全て実現に向けて進んでいくことが理想です。



学童保育クラブ市内団地活性化



森本せいや(まちだ市民クラブ)
学童保育クラブの対象学年について、1〜3年生の全入体制を堅持しつつ、順次拡大していくことを求める。
市長 1〜3年生を優先する方針で、4年生に拡大ということが最初のステップであります。見通しがついた段階で4年生へ移行する考えです。
都市づくり部長 町田市内各団地の活性化は、人口流入を促進し、町田市発展の起爆剤になり得るが、都市再生基本方針を策定し、取り組みを進めています。成果や進捗を見きわめ、取り組みを広げ、生かしていきたい。
公共交通網強化は、生活環境改善に資する。 原町田大通りへタクシー乗車新設を。署の協議が調った段階で、中市街地活性化協議会等と協議を進め、しっかりと話し合いの場を設けていきたい。



東京デイズ2へのバス路線を



おさむら敏明(自由民主党)
来秋の南町田まぢびらきまでに急行停車、各方面へのバス路線の開設など、拠点機能の充実と魅力ある街に。
山田副市長 現在、羽田空港、成田空港行きに加え、富士急ハイランド行きなどを運行していますが、さらに拠点を高めるため、長距離バス運行の拡大を、バス事業者とともに検討していきたい。
都市づくり部長 これから



町田市防の体制



戸塚正人(まちだ市民クラブ)
土砂災害警戒区域等に指定されている所有者不明の土地及び市有地の対策をするべきと考えるが、どうか。
防災安全部長 都が所有者に通知できなかった場所が所有者不明の土地に該当します。その情報をいただくことで、その情報をいただくことと思っています。
道路部長 指定されている多くが道路と判定され、資産調査を行っています。終わ



室内プール休館に伴う影響は



石川好忠(自由民主党)
室内プールは、29年が経過して老朽化している部分も多く、改修工事を行うべきだが、改修工事中、市民が継続してスポーツ活動が行えるよう、市はどのような対応をとっているのか。
文化スポーツ振興部長 ほかのスポーツ施設を案内していく必要があります。休館になる旨のお知らせ、学校温水プールの利用のほか、近隣市



改修予定の町田市立室内プール



子ども道路族の遊び場



新井よしなお(諸派)
公園の遊具の保守点検はどのように行っているか。
都市づくり部長 町田市公園施設点検マニュアルに基づき、遊具点検の資格を有する者が毎年1回、全ての遊具を点検しています。劣化状況と危険度を総合的に判断して、修繕等の保守を行っています。
道路部長 相談が寄せられ、交通に支障を来すおそれを確認された場合は、道路管理者と警察とで連携を図り、是正指導を行っています。



公共施設安全再編と市民の安心



村まつ俊孝(公明党)
公共施設の短期再編プログラム推進にあたっては、広報周知活動を強化するべき。
政策経営部長 10月からは、地域へ出向く訪問活動等も積極的に、広報活動を進めていきます。みんなで考える場を設けていきたい。
自転車の安全適正利用のため、販売店による啓発徹底と保険加入の義務化が必要。 都条例の改



北部丘陵活性化フレイル予防



藤田 学(自由民主党)
小田急小山田新駅周辺まちづくりに関連して、北部丘陵の資源を活用して収益を上げるための方策を伺う。
市長 町田市山林バンクのモデル事業を、20年度には運用したい。農業に関して、収穫体験農園の開設などの支援、情報発信を行いたい。
小山田地域で農業の収益を上げることに、農業委員会会長の考えを伺う。 新たな取り組みで来訪者がふえて、地域活性化が農業全般の底上げにつながると思っています。
フレイル予防について、保健医療政策等における認識と位置づけを求め。
保健所長 まちだ健康づくり推進プランでは全ての年齢で健康維持管理に努め、第7期介護保険事業計画で介護予防の普及啓発に取り組ま



中学校全員給食の実施を求めて



田中美穂(日本共産党)
弁当給食の利用率は、昨年度13.2%。ニーズに合っているという根拠は。
学校教育部長 アンケート結果で約6割の生徒が選択制を望む一方で、保護者の意見も尊重しますが、実際に食べさせている生徒の意見でニーズに合っていると考えています。
リニア中央新幹線トンネルルート上の事前家屋調査をするよう、JR東海に求め